

平成27年度学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山工業高等学校 学校長名：中前 耕一 印

目指す学校像・育てたい生徒像
○和歌山県の伝統ある工業高校として、職業教育のリーダの役割を果たし、社会に貢献する学校。
○校訓である「質実剛健」に相応しい、健全な自主自立の精神や勤労を尊重し、国内外の産業発展に貢献できる生徒。

重点目標
(学校の課題に即し、精選した上で具体的かつ明確に記入する)
1 進路保障に向け学力の充実を図ると共に、国際人の育成を行う。
2 基本的な生活習慣の確立と、問題行動の防止に努める。
3 広報の充実と地域との連携を深め、特色ある中核校を目指す。
4 適正かつ円滑な校務運営に努め、職員の意識向上を図る。

達成度
A 十分に達成した(80%以上)
B 概ね達成した(60%以上)
C あまり十分でない(40%以上)
D 不十分である(40%未満)

学校評価の結果と改善方針の公表の方法
年度末に発行する学校だよりに学校評価の結果を掲載するとともに、本校ホームページでも公表する予定である。

(注) 1、重点目標は3~4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2、番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3、評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
4、年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5、学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自己評価
重点項目
1 基礎学力の不足等で第1希望の進路に進めていない生徒がいる。
2 家庭との協力関係の希薄さがあり、基本的な生活習慣の乱れが続いている生徒がいる。
3 小・中学校や企業等に、本校の特色や良さが十分伝わっていない。
4 校務等の多用化が進み、対策が必要である。
平成27年度評価(平成28年3月17日現在)
評価項目の達成状況
A 十分に達成した(80%以上)
B 概ね達成した(60%以上)
C あまり十分でない(40%以上)
D 不十分である(40%未満)

学校関係者評価
平成28年3月実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<保護者評価・学校評議員評価>
「学校について知る良い機会でした」「地域に根付いた人材の輩出を期待します」「掃除が行き届いていないように思います」「三者面談での説明が丁寧でよくわかりました」「生徒さんがいつも正しく挨拶をして下さる姿には感動します」「学校開放週間などどれだけの人が来るのですか」「インターシップを含めより課外活動に参加することで個人の意識も変わっていくのではないかと思います」
学校関係者の皆様へ
たくさんの声をいただきました。どうもありがとうございました。いただいた結果を、来年度の成果につなげるよう、努力いたします。
<生徒評価>
学校を卒業して自分の将来に自信が持てると回答した生徒は、クラスで2割から3割で、そう思うことができない生徒が、2年連続で増えている。学校運営の改善をすることで、さらなる優秀な人材育成に取り組みたい。